

# 琉球諸島の海上交通と慶良間諸島

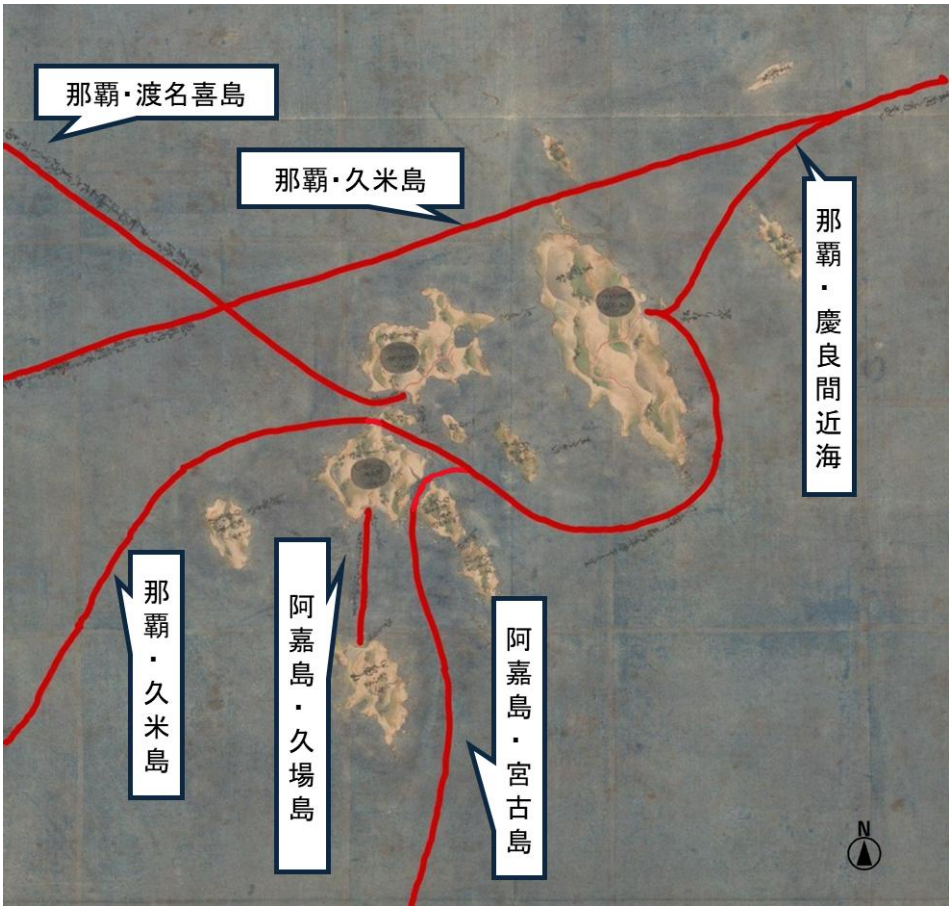
麻生 伸一（琉球大学人文社会学部）

## ◎琉球海域のなかの慶良間諸島

慶良間諸島は、那覇と中国（福州）を行き来する船が風を待つ海域として使われるなど、重要な役割を果たしていました。

琉球の国絵図（右図『正保琉球国悪鬼納島絵図写』）には、慶良間諸島が、那覇・久米島航路や那覇・宮古島航路（さらに南の八重山諸島）を結ぶ、海上交通の交差点として描かれています。

右図には、那覇から久米島への航路が 2 つ描かれています。これは、目的地の港や風待ちの必要に応じてルートが選ばれていたと考えられます。風待ちの場合には、座間味島や阿嘉島の近くを通る航路が利用されました。



## ◎慶良間を来航する船、慶良間から出航する船

右の表は、1855 年に座間味島の阿佐村から出入りした船の記録です。これは、浄土真宗を信仰したことで石垣島に流刑となった仲尾次政隆が、石垣島へ送られる前に一時滞在していた阿佐村での記録をもとに作成したものです。

この表からは、座間味間切内の船だけでなく、渡嘉敷島や宮古島、名護間切、さらに当時薩摩藩の支配下にあった沖永良部島の船も寄港していたことがわかります。

また、座間味間切と那覇の間で行われていた物資のやり取りの様子もうかがえます。仲尾次政隆は、自宅に書状や海産物を送り、那覇からは酒、味噌、酢、素麺などの食料品や、茶碗などのヤチムンを受け取っていました。これらの一部は、座間味間切の人々への贈り物として使われました。さらに、ケラマジカを那覇で売り、那覇からは豚肉を購入したという記録も残されており、さまざまな品物が那覇との間を行き来していたことがわかります。

『正保琉球国悪鬼納島絵図写』（部分を一部修正、東京大学史料編纂所蔵）

仲尾次政隆関係船舶往来一覧表（咸豊5（1855）年6月～8月）

|       | 出航、帰島船舶名                      | 目的・寄託品など                                                                |
|-------|-------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 6月17日 | 潮がかりの宮古船、那覇へ出航／風不順のため阿佐に戻る    | 便船（旅客利用）／政隆、自宅へ送付する書状・品物（アダン実）を付託                                       |
| 6月18日 | 宮古船再出航                        |                                                                         |
| 6月19日 | 仲尾次政隆、小舟で慶留間島へ                | 地方役人（前任の夫地頭）見舞いのため                                                      |
| 6月23日 | 沖永良部船、安護の浦で潮がかり（風待ち）          |                                                                         |
| 6月27日 | 沖永良部船、出航（前日出航予定するも強風のため翌日に延期） | 便船／自宅への書状・品物を付託                                                         |
| 6月28日 | 渡嘉敷間切首里大屋子の金城筑登之、到来           | 2, 3日中に那覇に行くため、自宅への書状や注文書を付託／那覇からの荷物運搬も依頼                               |
| 7月3日  | 阿嘉村駐在の大和横目が到来                 |                                                                         |
| 7月5日  | 渡嘉敷船、那覇から渡嘉敷島経由で到来            | 6月28日に依頼した品物を搬送                                                         |
| 7月7日  | 名護間切船2艘（3人ずつ搭乗）潮がかり           | 7月9日に味噌2合と明松三尺1束を交換                                                     |
| 7月14日 | 名護間切船2艘出航                     |                                                                         |
| 7月15日 | 座間味船出航（前日出航するも弱風のため帰島）        | 便船／自宅への書状・品物を付託                                                         |
| 7月17日 | 7月15日座間味船、帰島                  |                                                                         |
| 7月18日 | 座間味船、帰島（前条とは別船か）              | 自宅からの書状・品物を搬送                                                           |
| 7月25日 | 「外之慶留間之船」出航                   | 自宅への書状・品物（海産物、焼酎、鹿肉）を付託                                                 |
| 7月27日 | 阿佐村船、那覇に出航                    | 自宅への書状・品物（甕、徳利）・豚肉購入費を付託                                                |
| 7月27日 | 座間味船3艘、那覇に出航                  |                                                                         |
| 8月2日  | 座間味船3艘帰島                      |                                                                         |
| 8月4日  | 阿佐船、帰島                        | 便船／荷物のうち諸白（酒）入りの徳利1、油味噌壺1、酢入り徳利1がなくなる。後日、船方より弁償の申し出あるも、弁償不要とする。         |
| 8月6日  | 座間味船3艘、那覇に出航                  | 自宅への書状・品物（鉄製やかん、茶碗、海産物）を付託                                              |
| 8月12日 | 座間味島より小舟2艘到来、同日帰島             |                                                                         |
| 8月16日 | 外之慶留間之船、那覇より帰島                |                                                                         |
| 8月16日 | 阿佐村あしあけ小之宮平筑登之船、那覇に出航         |                                                                         |
| 8月17日 | 首里大屋子船、那覇へ出航（強風のため戻る）         | 自宅への書状を付託                                                               |
| 8月20日 | 首里大屋子船と外之慶留間之船、那覇へ出航          | 便船／干し魚6枚、小型の鹿1頭付託                                                       |
| 8月22日 | 阿佐船、那覇へ出航（前日、風不順のため阿佐村に戻る）    |                                                                         |
| 8月23日 | 外之慶留間之船、那覇より帰唐                | 自宅より書状・品物（唐芋、焼酎、素麺、餅あけ、芋葛、琉素麺、刻み煙草、白梅香、黄鬚付油、やかん、笋寒まかい、中茶碗、茶碗、上茶、宝蔵など）到来 |
| 8月30日 | 阿嘉島より小舟到来                     |                                                                         |

「『仲尾次政隆翁日誌』の翻刻と紹介」より作成